

規制改革推進会議 雇用・人づくりワーキング・グループ

2020/11/13



コロナ禍における  
オンライン教育の実態や今後の取り組み

桐蔭学園小学校  
森 朋子

## 本日の流れ

1. 桐蔭学園小学校の紹介
2. コロナ禍におけるオンライン授業（4月～6月）
3. オンラインを活用した新たな挑戦（9月～）
4. 課題

# 1 桐蔭学園小学校の紹介

- 所在地：横浜北部
- 児童数：628名  
(1学年3クラス)
- 教員数：40名
- 教育システム：低学年 担任中心  
3年生以上専科制
- 中等教育学校への接続：推薦制



- 教育ビジョン：  
「自ら考え 判断し 行動できるこどもたち」
- キーコンピテンシー：6つの資質・能力
- 教育方法：  
アクティブラーニング, 探究, キャリア教育

TOINスタートアップ  
プログラム 4/13

- 「できない」ではなく「やる」を合言葉
- フレームワーク
- 1本以上の動画配信
- 課題提示
- 郵送での課題受け取り
- 学校紹介や楽しい話題が中心（動機づけ）
- 一方向性のコミュニケーション
- 受信の状況の確認（第1回在宅調査）
- 電話連絡

TOIN GW  
プログラム 4/27

- 一過性ではないことを覚悟
- フレームワーク
- 複数の動画配信
- 課題提示
- 教科の内容
- ライブ配信への挑戦
- 双方向性への試行（ロイロノート）
- ライブ配信授業への試行（Zoom）
- iPad導入を検討
- 保護者対応+サポート
- 電話連絡

TOIN オンライン  
プログラム 5/11～6/30

- ALを止めない！
- 通常授業
- フレームワーク
- 朝10時のZoomHR
- コマ数の動画配信
- 課題提示
- 探究
- ロイロノートによる課題提出+フィードバック
- 一人1台iPadを決定
- オンライン教材の導入を決定
- 効果の確認（第2回在宅調査）

顔見知りの教員が動画に出てくるので児童・保護者に大好評。この時期は一方的。



子どもたちは担任が誰だかわからないので、学年団で個性ある自己紹介動画を作成



課題を紙ベースで郵送。この作業が大変でした



動画の編集もはじめてです

TOINスタートアップ  
プログラム 4/13

- 「できない」ではなく「やる」を合言葉
- フレームワーク
- 1本以上の動画配信
- 課題提示
- 郵送での課題受け取り
- 学校紹介や楽しい話題が中心（動機づけ）
- 一方向性のコミュニケーション
- 受信の状況の確認（第1回在宅調査）
- 電話連絡

TOIN GW  
プログラム 4/27

- 一過性ではないことを覚悟
- フレームワーク
- 複数の動画配信
- 課題提示
- 教科の内容
- ライブ配信への挑戦
- 双方向性への試行（ロイロノート\*）
- ライブ配信授業への試行（Zoom）
- iPad導入を検討
- 保護者対応+サポート
- 電話連絡

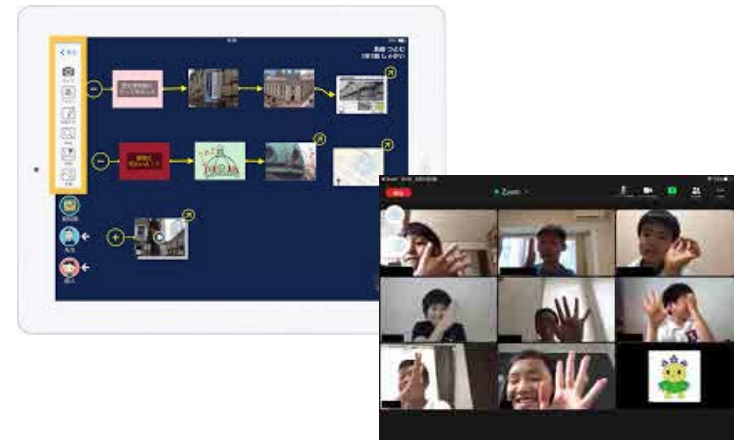
TOIN オンライン  
プログラム 5/11～6/30

- ALを止めない！
- 通常授業
- フレームワーク
- 朝10時のZoomHR
- コマ数の動画配信
- 課題提示
- 探究
- ロイロノートによる課題提出+フィードバック
- 一人1台iPadを決定
- オンライン教材の導入を決定
- 効果の確認（第2回在宅調査）

\*ロイロノートとは、インターネット上の同社サーバを通じて教員と児童、児童同士が相互にやり取りできるソフト。



Zoom操作 猛特訓中



子どもたちとつながりました！

**桐蔭学園小学校**

**zoom 接続テスト**



本日はこの画面が  
確認できたら OK です

保護者もZoom操作を覚えます



ロイロノートWeb版で、課題提出もオンライン化

TOINスタートアップ  
プログラム 4/13

- 「できない」ではなく「やる」を合言葉
- フレームワーク
  - 1本以上の動画配信
  - 課題提示
  - 郵送での課題受け取り
  - 学校紹介や楽しい話題が中心（動機づけ）
- 一方向性のコミュニケーション
- 受信の状況の確認（第1回在宅調査）
- 電話連絡

TOIN GW  
プログラム 4/27

- 一過性ではないことを覚悟
- フレームワーク
  - 複数の動画配信
  - 課題提示
  - 教科の内容
  - ライブ配信への挑戦
- 双方向性への試行（ロイロノート）
- ライブ配信授業への試行（Zoom）
- iPad導入を検討
- 保護者対応+サポート
- 電話連絡

TOIN オンライン  
プログラム 5/11～6/30

- ALを止めない！
- 通常授業
- フレームワーク
  - 朝10時のZoomHR
  - コマ数の動画配信
  - 課題提示
  - 探究
  - ロイロノートによる課題提出+フィードバック
- 一人1台iPadを決定
- オンライン教材の導入を決定
- 効果の確認（第2回在宅調査）

例	月	火 テーマ(ボール)	水	木 テーマ(ゲーム)	金
1	国語	探究活動	算数	探究活動 <sup>8</sup>	社会
2	算数		図工		国語
3	体育		社会		音楽
4	英語		科学		科学





定期的なZoomHR



各教室から配信します



6年生の探究。Zoomを用いて1年生へ学校紹介

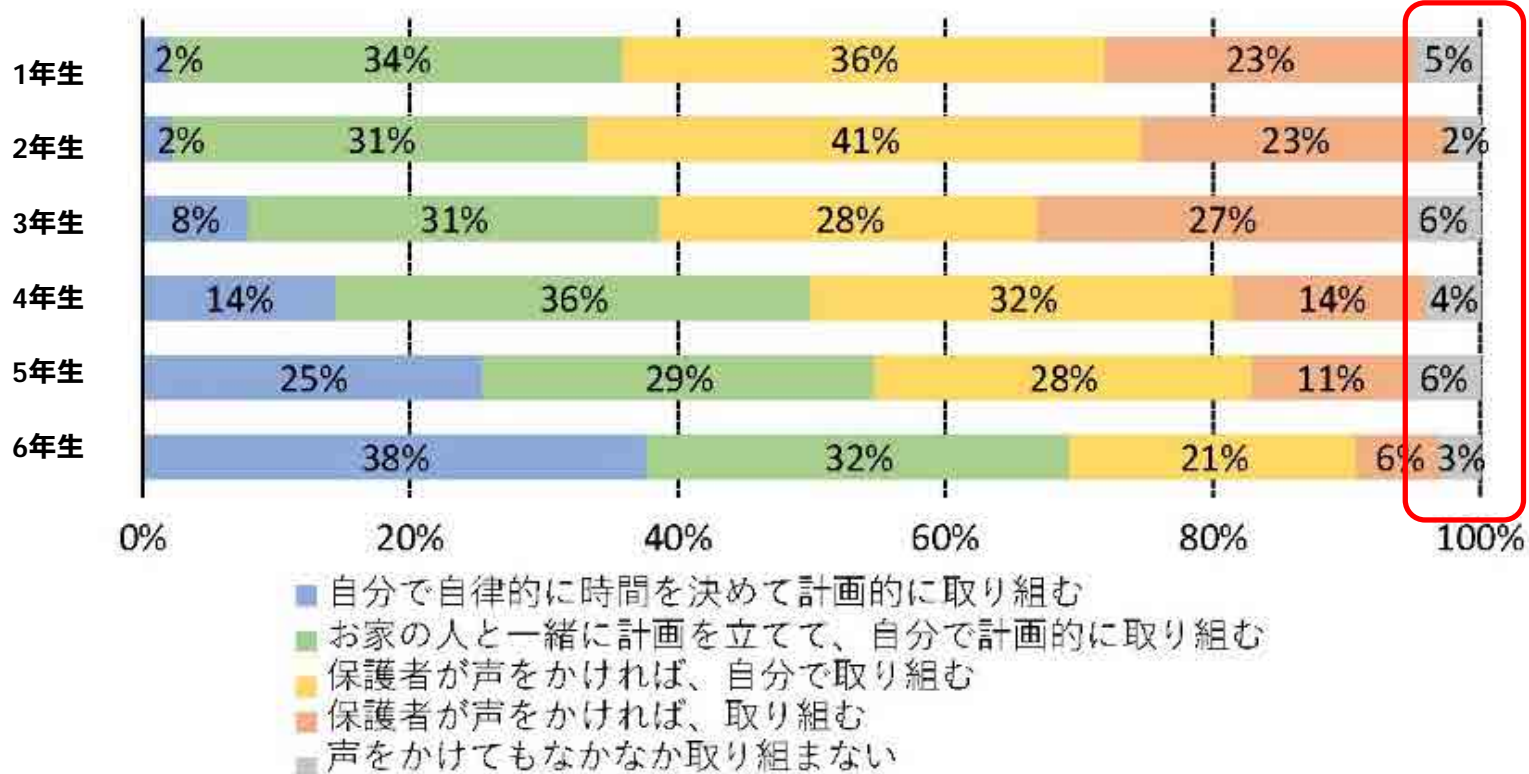


ソーラン部活開始。自宅で踊って集約します

## 「在宅中の生活・学習状況に関する一斉調査」

- 回収率88%
- 第1回目（4月）よりもストレスの軽減がみられる
- 高学年になるにつれ、自律的にオンライン授業に取り組んでいる。
- 7割以上の児童・保護者がオンライン授業に満足している  
→繰り返し見られる、自身のペースで学習できる

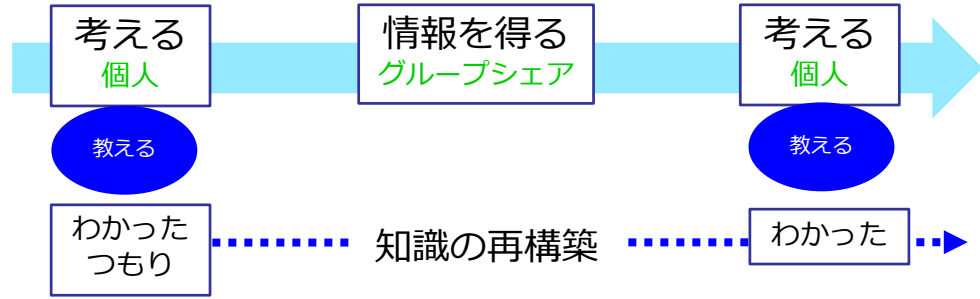
### ②お子様の学習姿勢について、お答えください。



### 3 <sup>11</sup> オンラインを活用した新たな挑戦（9月～）

習得型授業モデル

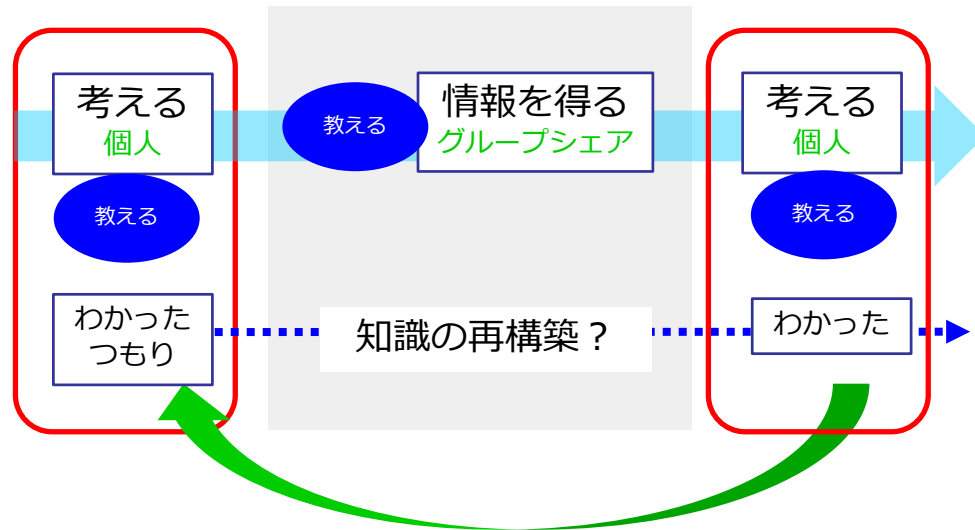
- 内化-外化-内化
- 個人-集団-個人
- 知識の再構築が目的



習得型授業モデル  
森 2017, Mori 2019

TOIN オンラインモデル

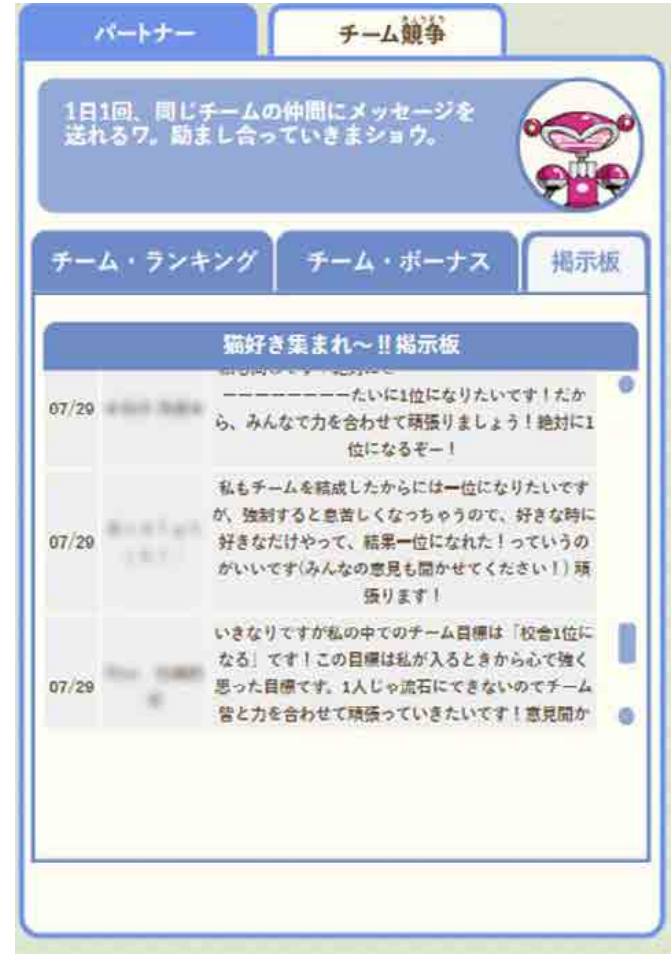
- 習得型授業モデルの発展版
- 一人でじっくり自分のペースで取り組み, 考える
- ゲーミフィケーション = 動機づけ



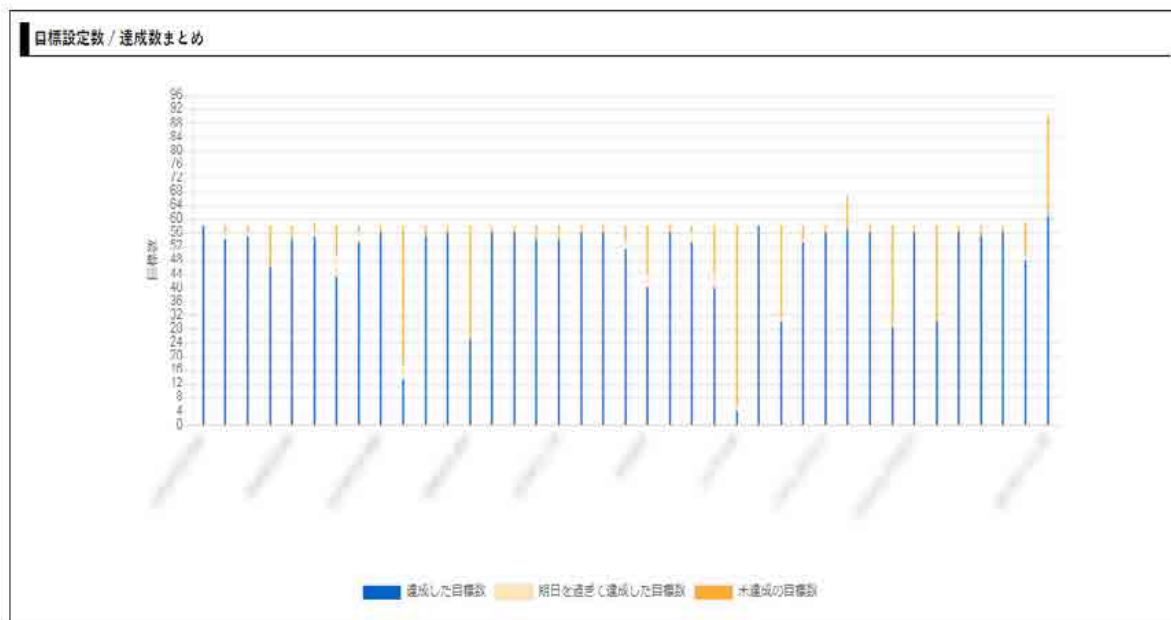
TOIN ブレンド型学習

### 3<sup>12</sup> ゲーミフィケーション機能

- 取り組みへの動機づけを強める
- 学びのプロセスが可視化
- プロセスの共有 児童×教員×保護者



## 4 効果と課題



藤村英樹先生ブログより 2020/11/09参照

### 効果

- 担任・副担任による個別の支援 = 可視化の成果
- 保護者も巻き込む = 可視化の成果
- ゲーミフィケーション機能での動機づけ

### 課題

- 学習格差の広がり
- ペーパーでの格差がオンラインでさらに拡大?
- 個別支援を充実させるためには、サポート教員の数が圧倒的に足りない
- 保護者次第の自宅での学習環境 = 学校は介入できない
- 子どもによっては学びが他律的なまま



桐蔭学園小学校がオンラインで目指すものは...

コロナ禍にかかわらず、  
授業力により「学びに向かう力」を喚起し、  
個人で考えたことを仲間とシェアすることにより深い理解を得る活動の中で、  
6つのキーコンピテンシーを育成する教育学習環境の整備

- ✓ 授業 = 多様性を活かした協同学習 × 授業外 = 個々の児童の学びに沿った個性化  
⇒現状できる個別最適な学びの演出  
⇒おくれがちな児童には、オンライン補助教材を自分のペースで何度でも  
⇒さらに発展を目指す児童には、アフタースクールの探究
- ✓ オンラインのメリット × 対面のメリット  
⇒ブレンド型学習  
⇒協同学習の活性化

そのためには...

- ✓ オンライン教育を支える人材 = コーチングスキルの専門性を有する者、ICTスキルを持つ支援員、保護者側のサポートサービス要員など人材雇用の必要性。今のところは教員。
- ✓ そもそも学びに向かう力の育成 = 授業でのさまざまな動機づけを刺激する仕掛け

ありがとうございました